

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2014年5月21日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## いのちと健康、職場を奪う「医療介護改悪法案」



### 宣伝強め、政党・参議院議員へ廃案の要請を

安倍自公政権は、医療と介護を大改悪する「医療介護総合推進法案」・19本の法案を衆議院で強行採決しましたが、参議院での審議が来週以降、始まる予定です。安倍政権は、今国会（会期末6/22）中の成立を狙っています。まだまだ、多くの国民に、法案の問題点が知られていません。多くの国民に内容を伝え、反対の世論と運動を広げ、政党・参議院議員へ徹底審議の上、廃案にするよう、働きかけを強めましょう。

### 「こんな残酷な法案おかしいです」 F A X 要請行動広がる オホーツク勤医協、勤医協在宅・労組・

各団体で、国会議員へのF A X 要請行動が広がっています。オホーツク勤医協（20件）や勤医協在宅や労働組合（122件）が送付しています。



#### 議員へのひとこと（オホーツク勤医協社保ニュースより）

- 社会問題になっている、老老介護、孤独死などがこの法案により、解決どころか進んでしまうと思います。今後より良い社会を作っていくためにも、もう一度法案について考え直してほしい。
- お金の問題で受けたい医療介護が受けられない状況をよく目にします。必要なときに、必要な医療が受けられる制度にしたいです。
- 親が介護を必要としたとき、病気になったときのことと考えるととても不安です。仕事をやめなければならぬと思います。医療介護にかかるお金も親の年金ではまかなえません。子は親の介護費を支払い、仕事をやめて介護を行った子どもは、自分の老後を預金や年金がない状態でどうやって生きていけば良いのでしょうか。こんな残酷な法案はおかしいと思います。

23日(金)は 医療介護の改悪をやめさせ改善求める大通行動（12時30分～ 札幌大通西3丁目）

## 「障害のある人の99%が年収200万円以下です。制度・予算に拡充を」

きょうされん 50名で大通宣伝署名 200筆以上集まる 29日には代表が国会要請



19日昼、きょうされんが、札幌大通で、障害者制度の拡充を求める「第37次国会請願署名」行動を行いました。市内の事業所から50名以上が集まり、200筆が集まりました。29日には、代表が国会要請を行います。

■ 介護保険優先ではなく、必要な支援を選べるように  
65歳になったとたん  
「昨日まで受けられていた支援が、今日から使えない」  
「利用料が必要になり、負担が急増！」

※障害者の制度を使っていた人も65歳（第2号被保険者の人は40歳）になると優先的に介護保険制度を使わなければなりません。そのため、1割の費用負担が発生したり、それまで使っていた支援が受けられなくなるなど様々な問題が起きています。臨山では居宅介護の支給量を増やして、施設がはじまりました。障害者福祉が、介護保険ではなく、本人のニーズで、必要な支援を選択したり併用できることが大切です。

■ 障害のある人は 56% が年収100万円以下、  
99% が年収200万円以下

北海道社保協総会・記念講演「北海道政と社会保障」 講師 真下紀子 道議会議員  
6月14日(土) 13時30分～ 総会は15時～ 札幌市教育文化会館 305